

**実験の概要:** 小田急線新百合ヶ丘駅周辺を対象に、**MaaSアプリEMot**を用いて**オンデマンド交通の実証運行**を実施するとともに、**鉄道やバス、タクシー、カーシェアを含む多様な交通手段を検索、手配**できるサービスを提供する。また、**保育・教育関連施設や商業施設と連携**してオンデマンド交通の利用促進を図る。さらに、**コロナ禍における新サービスとして小田急線の各列車、各駅間の混雑予測の表示や、SNSからAIが抽出した観光地の見どころを提案**するなど、**安心・快適な公共交通利用に資する実験**を推進する。

## 協議会の構成員

川崎市、小田急電鉄株式会社、小田急バス株式会社  
川崎交通産業株式会社、神奈中タクシー株式会社

## MaaSの提供により解決したい地域の課題

- 道路混雑
- 運転免許非所有者のラストワンマイル移動手段の不足
- 子育て世帯の送迎負担
- コロナ禍における公共交通利用への懸念

## 交通手段と連携するサービス

<交通手段 (複合経路検索が可能、一部決済可能)>

- 鉄道(アプリEMotで小田急線の混雑予測などを配信)
- 路線バス(施設連携クーポンを発行)
- オンデマンド交通(EMotから検索・配車・決済が可能)
- タクシー、カーシェア(EMot内で検索可能)

<連携するサービス>

保育・教育関連施設、商業施設、観光情報提供

## 本格的な導入に向けた検証項目、目標値

- ①オンデマンド交通の利用者数:延べ10,000人
- ②施設連携交通チケット利用者数:延べ3,000件
- ③EMot利用者の公共交通利用頻度: 実験前比で増加

## 実験内容

- MaaSアプリEMotを通して、鉄道、路線バス、オンデマンド交通、タクシー、カーシェアについて一体的に情報提供
- **保育・教育関連施設や商業施設と連携**して、路線バスやオンデマンド交通のチケットを提供し、公共交通利用促進や送迎負担の緩和効果を検証
- 鉄道の**各列車、各駅間の混雑予測**をEMotで表示
- **観光地のSNS情報からAIが見どころを抽出**し、EMotで表示して公共交通利用中心の周遊ルートを提案
- MaaS Japanに交通サービスデータを連携させ、EMotのみならず**他のMaaSアプリともデータ連携を進める**

